

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
8	1				全般
8	1	1			一定時間、システムが使用されていない場合、自動的にログアウトしてシステムがロックされるオートログアウト機能を有すること。
8	1	2			ロックされた画面ではパスワードの再入力によるロックの解除、あるいは強制終了の選択が可能であること。
8	1	3			IDとパスワードによるユーザ認証が行われること。
8	1	4			ログインユーザ毎にロールを割り当てることにより、ユーザ毎に使用できる機能を制限することができること。
8	1	5			他システムからIDとパスワードを引き継いで起動することが可能なこと。(シングルサインオン)
8	1	6			ユーザ操作の履歴を操作ログとしてログファイルに出力されること。
8	1	7			権限をもつユーザのみが使用可能なログ参照機能を有すること。
8	2				患者情報管理
8	2	1			患者基本情報、患者プロフィール情報の新規登録および変更が可能なこと。
8	2	2			患者について造影剤アレルギーについての情報を登録できること。アレルギーの有無、薬剤名、コメントを登録することができること。
8	2	3			患者について体内金属についての情報を登録できること。体内金属の有無、種類、コメントなどを登録することができること。
8	2	4			氏名をコールしてはならない患者であることが登録できること。この場合、呼び出し用の氏名を登録することができること。
8	2	5			患者に付随するコメントの入力ができること。
8	2	6			コメントはフリー入力ができること。
8	2	7			定型コメントの編集は、コメント入力可能なユーザであれば定型コメント選択欄から容易に可能であること。
8	3				オーダー情報登録
8	3	1			オーダー情報の登録および変更を行う機能を有すること。
8	3	2			オーダー情報登録時、複数の検査をまとめて登録できること。
8	3	3			詳細な部位を指定せず、ダミーとして検査室のみを指定して登録、受付することが可能であること。
8	4				受付業務
8	4	1			患者番号、検査予定日、検査種、依頼科、病棟の条件で患者毎のオーダーを抽出することができること。
8	4	2			検索条件はクライアント毎に初期値の設定ができること。
8	4	3			検索結果に該当する検査情報が検査状況に関係なく受付リストにすべて表示されること。
8	4	4			受付リストには以下の項目が表示されること。 受付状況、受付番号、受付日時、検査予定日時、検査種、部位、検査項目、依頼科、依頼日、依頼日、検査エリア
8	4	5			受付時間が検査予定時間より遅い場合、遅刻であることを視覚的に識別することができること。
8	4	6			受付リストは以下の内容が設定可能であること。 リスト出力項目、出力項目表示順序、出力項目の幅
8	4	7			受付状況はステータスにより色が変わって表示されること。
8	4	8			受付リストの表示順は、受付後の順序付け順で表示されること。
8	4	9			他検査の有無に加え、その検査の内容や進捗が参照可能なこと。
8	4	10			他部門の検査有無の情報を参照できること。
8	4	11			受付リストよりオーダー情報を選択して受付を行う機能を有すること。
8	4	12			受付時、設定により受付票や依頼箋が自動で出力されること。
8	4	13			受付済の検査情報の受付取消を行うことができること。
8	4	14			優先的に検査を行う必要がある場合、通常の受付とは区別として優先受付を行うことができること。
8	4	15			検査担当者への連絡のために受付時コメントの入力ができること。
8	4	16			検査項目毎に検査を行うエリアが自動的に割り振られること。
8	4	17			割り振られた検査エリアは受付リスト上で変更可能なこと。また順序付けを行っている場合は順序についてもリスト上で変更可能なこと。
8	4	18			受付リストからオーダーを選択して依頼の詳細内容を表示できること。
8	4	19			受付リストから検査を選択して、その患者の検査履歴を表示することができること。
8	4	20			検査日未定として登録されたオーダーについて、その表示可否を設定できること。
8	4	21			検査日未定のオーダーの定義を設定で行うことができること。
8	5				検査業務
8	5	1			放射線部門の各業務を検査ワークリスト上から行うことができること。
8	5	2			用途に応じたモードおよび検索条件が指定された検査リストを複数のタブとして表示でき、タブをクリックするだけでリストを切り替えることができること。
8	5	3			検査ワークリストタブはクライアント毎に設定することが可能であること。
8	5	4			指定された検索条件の中で、一時的に変更したい条件はフィルタ条件として検査ワークリストに表示させることができること。
8	5	5			検査ワークリストタブの表示順序は変更可能であること。
8	5	6			検査リストよりオーダーを選択することにより、該当検査の検査詳細情報、該当患者の検査歴、他部門検査一覧、同日他検査一覧の参照が可能であること。
8	5	7			帳票印刷により受付票、依頼箋などの各種帳票の印刷が可能であること。
8	5	8			検査リストにて選択したオーダーの画像参照、レポート参照が可能であること。
8	5	9			オーダーの受付・受付取消、エリア変更、患者呼出が可能であること。
8	5	10			患者の呼出状況をリスト上のアイコンで識別できること。
8	5	11			呼出状況のステータスは施設の運用に応じて設定可能であること。
8	5	12			エリア変更、検査開始が可能であること。
8	5	13			検査ワークリストには表示対象となる検査エリアに該当する検査のみが表示されること。
8	5	14			検査ワークリストの状況を音声で周知する機能を有すること。
8	5	15			周知条件には検査状況、ワークリストのフラグを任意に指定することができること。
8	5	16			音声での周知の有無および周知条件は検査ワークリストのタブごとに設定することができること。
8	5	17			音声の内容はクライアント毎に音声ファイルを設定することができること。
8	5	18			患者の更衣状況をリスト上のアイコンのクリックにより、入力することができること。
8	5	19			更衣状況のステータスは施設の運用に応じて設定可能であること。
8	5	20			検査が完了していない検査を選択し、検査実施画面に展開することができること。
8	5	21			実績入力の操作権限を設定できること。
8	5	22			未受付の検査から検査開始することができること。
8	5	23			検査開始時、同性同名のチェックが可能であること。
8	5	24			実績修正が可能であること。
8	5	25			検査済のオーダーの検査実施情報の修正を行うことができること。
8	6				検査実施
8	6	1			実施情報として、検査実施日時、検査装置、検査室、実施者、検査詳細情報、実施時コメント、薬剤・フィルム等の会計情報を入力することができること。

8	6	2		検査実施画面では以下の情報がウィンドウ毎にまとまって表示すること。 検査情報、検査詳細情報、会計情報、会計サマリ情報、実施時コメント入力
8	6	3		検査情報には部位の判別を容易にするため、部位のイメージが表示されること。
8	6	4		検査詳細情報には検査条件や検査プロトコルなどの情報が入力できること。入力は別ウィンドウを表示することなく、表示されているエリアに直接、入力することができること。
8	6	5		フィルムの枚数や造影剤の数量といった値は別ウィンドウを表示することなく、表示されているエリアに直接、入力することができること。
8	6	6		入力した内容を一時的に保存する機能を有すること。
8	6	7		未検査の検査項目に対してデフォルトとして設定されている検査詳細・会計情報が初期値として表示されること。
8	6	8		実施情報として入力した会計情報を簡単にデフォルトとして登録可能なこと。
8	6	9		デフォルト物品・条件は検査項目・年齢ごとに設定可能なこと。
8	6	10		検査項目の変更および追加が可能なこと。
8	6	11		使用した物品のバーコードを読み取ることで物品追加が容易に可能なこと。
8	6	12		使用物品の検索に関しては名称検索・分類分けからの検索に対応すること。
8	6	13		セット化された物品マスタを選択することで個別に追加する手間を省くこと。セットとしてはセット名称・それぞれの物品・使用量などを登録可能なこと。
8	6	14		実施入力した物品を簡単にセット物品マスタに登録可能なこと。
8	6	15		会計保存時にロスフィルム枚数を格納できること。
8	6	16		会計モードを選択できること（オンライン・オフライン）。画面に表示するモードは設定により変更できること。
8	6	17		患者の年齢を小児・大人などの分類に分けることができ、その分類によってFCRとの連携用コードを切り替えることが可能なこと。年齢による分類幅および分類自体も設定により変更可能なこと。
8	6	18		実績保存時に休日および業務時間を判定し、通常か時間外かを保存できること。
8	6	19		検査実施時のコメントとして以下のコメントが入力できること。 検査時コメント、読影医へのコメント、依頼医へのコメント
8	6	20		コメントはフリー入力に加えて定型コメントからの入力ができること。
8	6	21		定型コメントの編集は、コメント入力可能なユーザであれば定型コメント選択欄から容易に可能であること。
8	7			<b>CRコンソール、FPDコンソール連携</b>
8	7	1		既設CR装置に対して患者属性および検査情報を提供することができ、撮影後、CR装置より実施条件およびショット数を取得するといった連携が行えること。
8	7	2		既設のFPD装置に対して患者属性および検査情報を提供することができ、撮影後、FPD装置より実施条件およびショット数を取得するといった連携が行えること。
8	7	3		FPDモバイルコンソールに対して選択した検査情報をまとめて送信することができること。
8	8			<b>RI検査業務</b>
8	8	1		RI薬品の入庫登録、ミルキングおよびドラム缶廃棄管理ができること。
8	8	2		RI薬品の登録、発注、受入、保管廃棄といった状況が管理できること。
8	8	3		RI薬品の状況別、日付別、核種別にRI薬品の一覧を表示できること。
8	8	4		登録した薬品の一覧表示が可能なこと。
8	8	5		RI薬品の使用登録時に、記録簿用途の使用量、残量、投与日付、投与時刻の情報管理が行えること。
8	8	6		RI薬品の受入登録を行わなくてもRI薬品の使用登録が行え、実施情報をもとに記録簿・核種毎の使用簿などの帳票が出力できること。
8	8	7		RI薬品の使用登録時に検定日時を元に投与日時時点での半減期計算を行い、使用量などへ反映できること。
8	8	8		届け出ている1日、3ヶ月間および年間の最大使用予定数量が確認できることとし、実際に使用した1日、3ヶ月間および年間合計使用量が集計できること。
8	8	9		使用数量および全量を投与しない場合には残量を記録すること。
8	8	10		使用年月日・使用数量を入力することにより、1日、1ヶ月間、3ヶ月間および年間合計使用数量を出力でき、届け出ている1日、3ヶ月間および年間合計使用予定数量に対する使用の割合等も出力できること。
8	8	11		1日別、1月別(1日毎)、1年別(1月毎、3月毎)、1年度別(1月毎、3月毎)での核種毎の使用状況簿の出力が可能なこと。
8	9			<b>検査指示</b>
8	9	1		検索条件に従ってオーダの一覧を表示し、指定したオーダに対して放射線科医が検査指示を入力する機能を有すること。
8	9	2		一覧よりオーダを選択することにより、該当オーダの検査詳細情報、該当患者の検査歴の参照が可能であること。
8	9	3		検査歴では、検査詳細情報、実施情報、検査時画像、レポートが参照できること。
8	9	4		検査指示を入力する際には、フリー入力に加えて定型コメント、検査歴からのコピーが可能であること。
8	9	5		定型コメントの編集は、コメント入力可能なユーザであれば定型コメント選択欄から容易に可能であること。
8	9	6		検査指示内容とともに、入力日時、入力者が登録されること。
8	10			<b>帳票出力</b>
8	10	1		検査予定日、検査種あるいは検査室を指定して検査予定表を印刷することができること。
8	10	2		検査予定表の印刷イメージを画面上で確認できるプレビュー表示が可能であること。
8	10	3		検査日、検査種を指定して照射録を印刷することができること。
8	10	4		照射録は複数の検査を一覧で出力するサマリ形式、あるいは1検査に対して1枚の照射録を出力する単票形式での出力が可能であること。
8	10	5		照射録の印刷イメージを画面上で確認できるプレビュー表示が可能であること。
8	10	6		検査日を指定して当直簿を印刷することができること。印刷の際、画面上で備考欄への印字内容を入力、印刷物に反映することができること。
8	10	7		当直簿の印刷イメージを画面上で確認できるプレビュー表示が可能であること。
8	11			<b>物品管理</b>
8	11	1		実施入力内容をもとにして物品種別ごとに使用量及び損失量の集計を行うこと。また在庫量、調整量を登録し、在庫量を算出可能であること。
8	11	2		管理の対象とする物品を任意に設定できること。
8	11	3		複数の物品をひとつの物品としてグループ化して扱うことが可能であること。
8	11	4		物品別の集計は、日単位、月単位、年単位で可能であること。
8	11	5		検査種別、依頼科別、検査室別および設定により作成したグループにてそれぞれ集計可能であること。
8	12			<b>フィルム管理</b>
8	12	1		フィルム袋の貸出返却管理を行うことができること。
8	12	2		フィルム袋の貸出返却情報を登録可能であること。貸出先の依頼科や病棟、貸出者等を登録可能であること。
8	12	3		複数のフィルム袋をまとめて貸出や返却を行う、一括登録機能を有すること。
8	12	4		フィルム袋の廃棄を登録することが可能であること。
8	12	5		受付時や実施入力時等、運用に合わせて大袋の発行タイミングを設定可能なこと。またその際には袋番号の発番を行うこと。
8	12	6		フィルム袋の発行を必要ときに任意で行うことも可能であること。
8	12	7		フィルム袋用のラベルを出力することができること。フィルム袋ラベルは自動または必要ときに任意に出力することが可能であること。
8	12	8		管理画面では患者番号または袋番号にて検索可能であること。
8	12	9		各フィルム袋に入っていると思われる検査の内容を表示できること。
8	12	10		フィルム大袋の貸出情報および返却情報の履歴を確認できること。
8	13			<b>検査待ち患者数表示</b>
8	13	1		各検査室や検査エリア毎の検査待ちの患者数を表示する機能を有すること。

8	13	2		検査待ちの患者数は数値あるいはグラフで表示されること。
8	13	3		検査待ち時間を表示する等、検査実施者等に注意を促すことができること。
8	14			機器点検管理
8	14	1		JIRAなどで提案されている、「放射線関連装置の始業終業点検表」に基づいた点検項目のチェックおよび点検表の出力が可能であること。
8	14	2		施設固有の点検表を作成することもできること。
8	14	3		「日本乳がん検診精度管理中央機構」の評価基準のテスト項目に基づいたマンモグラフィ装置の点検チェックが可能であること。
8	14	4		チェックした内容は「マンモグラフィ精度管理レポート（画像評価及びAEC動作確認）」として出力することができること。
8	15			検査統計
8	15	1		蓄積されたデータを多角的に解析することができるデータ分析機能を有すること。
8	15	2		ユーザ自身で分析項目や分析レベルを組み合わせて必要な情報を導き出すことができること。
8	15	3		分析対象データにより、検査業務分析が可能であること。
8	15	4		分析結果は数値データあるいはグラフ（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）での表示ができること。
8	15	5		分析結果をcsvやExcel形式のファイルに出力することができること。
8	15	6		検査種別部位別の統計帳票の出力が可能であること。
8	15	7		依頼科別部位別の統計帳票の出力が可能であること。
8	15	8		これらの統計帳票は、1ヶ月毎、1年毎、年度毎の単位で出力できること。
8	15	9		RISに登録されているデータをファイル出力可能なこと。
8	15	10		出力する項目はユーザにて画面上で指定可能であること。
8	15	11		出力条件は任意に指定可能であること。
8	15	12		検索結果は画面上にも表示されること。
8	15	13		よく使用する検索条件は定型検索条件として登録することができること。
8	16			他システム連携
8	16	1		電子カルテ・オーダリングシステムより患者情報、オーダ情報を受信できること。また、これらのシステムに対して受付情報、検査実施情報を送信することができること。
8	16	2		レポートシステムに対して患者情報、オーダ情報、検査実施情報を送信することができること。
8	16	3		各種放射線検査装置（モダリティ）とDICOM MWM接続ができること。詳細な接続仕様については、当院と協議の上で決定すること。